

月22日、新潟大学五十嵐キャンパス

研究成果など

1) 書籍

環東アジア研究叢書第4巻 ジョヴァンニ・フィリッポ・デ・マリニ 『《復刊》トンキン王国の新奇な話』 新潟大学環東アジア研究センター（編），解説：蓮田隆志，2014年2月。

關尾史郎（編）『環東アジア地域の歴史と「情報」』 知泉書館・新潟大学人文学部研究叢書，2014年3月。

2) 定期刊行物

『環日本海研究年報』第21号，2014年3月（発行名義は新潟大学環日本海研究室）。

佐渡・越後の文化交流史研究

研究代表者 原 直 史

プロジェクトの概要

佐渡および越後地域をめぐる文化交流について、歴史、考古、地理、民俗、社会思想史、文学等の各分野から、現地調査を加味しつつ、研究資料・研究文献を広く調査蒐集し、日本列島における東西文化交流と定着について総合的、実証的研究をすすめる。具体的には両地域を中心とした地域の古文書や文学資料、古地図、遺跡発掘データの収集と検討、民俗学的事例研究などを通して当該地域の文化交流について考察する。数回の研究会、研究報告書刊行等を行っている。

プロジェクト参加者

矢田俊文 池田哲夫 橋本博文 飯島康夫 原直史 堀健彦 中林隆之
阿部昭典 荻美津夫 白石典之 芳井研一(フェロー) 鈴木孝庸(フェロー)

2013年度の活動

1. 研究雑誌の発行

『佐渡・越後文化交流史研究』第14号(2014.3)

池田哲夫「資料紹介 『漁村採集手帳』」

鈴木孝庸「『久知軍記』翻刻」

地域映像アーカイブ

研究代表者 原 田 健 一

一 「地域映像アーカイブ」について

「地域映像アーカイブ」プロジェクトでは、新潟地域の生活のなかにある映像を発掘し、整理・保存を行い、デジタル化をするだけでなく、その内容を整理、分析し、映像メディアの社会的あり方を考え直し、新たな社会の文化遺産として映像を甦らせるべく作業を行ってきた。

デジタル化が終わっている映像や音源は、着々とアーカイブ化されており、現在、写真約二万七〇〇〇点と動画約三〇〇本を新潟大学内で公開しています。五年後には、総計で写真約一〇万点、動画約一〇〇〇本、音源約一〇〇〇点の公開を予定している。

学内で見る場合は、「にいがた 地域映像アーカイブ・データベース」
<http://arc.human.niigata-u.ac.jp/db/> にて、自由に見ることができる。なお、学外からアクセスする場合は、新潟大学「地域映像アーカイブ」のホームページ
<http://www.human.niigata-u.ac.jp/ciap/> より入り、「地域映像アーカイブ」をク